

令和7年度山口県海岸漂着物対策推進協議会\_事例発表

# 街に落ちているゴミから考える -身近な環境問題へのまなざし-

山口県立大学 国際文化学部 文化創造学科 3年

井上柊亜 萱沼水美 黒田ヒナタ 後藤美柚

白上瑠莉 津田玲奈 中西花梨

指導教員：荒木麻耶（講師・デザイン思考研究室）

[連携先] タムラエンバイロ株式会社

# 目次

---

## 身近なごみ問題を「知る・考える・伝える」プロジェクト

**1**

---

プロジェクト  
の体制

**2**

---

背景・課題

**3**

---

取り組み  
の流れ

**4**

---

解決方法

**5**

---

成果・考察

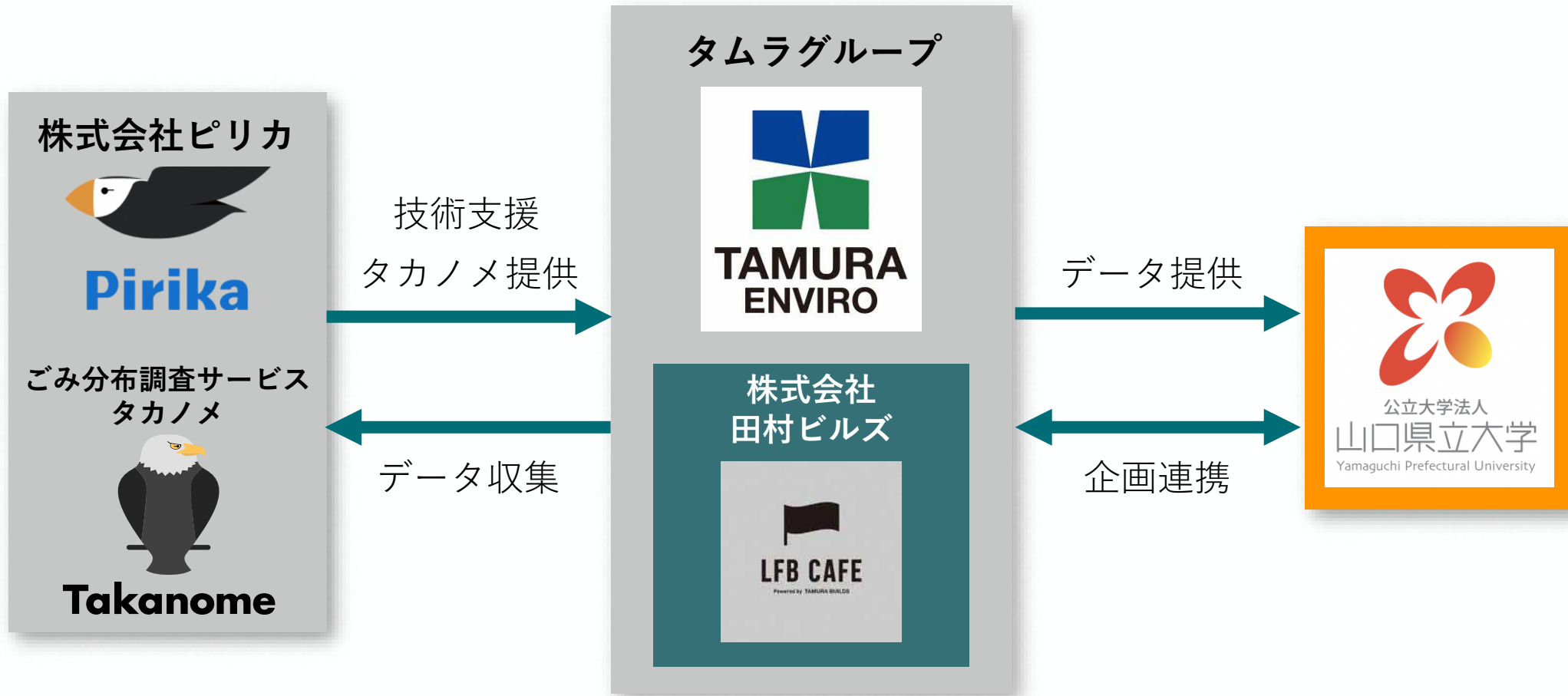
**6**

---

今後の展望

# 1.プロジェクトの体制

## データ活用と取り組み体制



# 1.プロジェクトの体制 | タカノメについて

## ごみ問題を「見える化」する仕組み

ごみ（ポイ捨てごみや不法投棄）の分布をAI（人工知能）で調査・可視化する環境支援サービス。

環境テック会社の株式会社ピリカによって開発・提供。



タカノメデータの仕組み

※ピリカより提供いただいたデータを一部改変

## 2.背景・課題

---

### 身近に存在するポイ捨て問題

地域の環境美化と持続可能なまちづくりのために、  
DXを活用したごみ投棄の抑制活動を実施する。

# 3.取り組みの流れ

## 調査から実践までのプロセス

リサーチによる現状把握とアイデア出しを経て、  
解決策の提案・実施に取り組んだ。

(1)デスクトップリサーチ

### 「ポイ捨て図鑑」(アート✕ごみ)



概要  
ポイ捨てをさ  
ず、迷子にな  
った助ける  
が簡単にゲー  
捨て問題の解

捨てられた  
街の

(2)フィールドワーク



(3)アイディエーション  
ワークショップ



### 3.取り組みの流れ | デスクトップリサーチ

#### データから見るごみの現状

既存の資料やタカノメデータを参照し、ごみの現状やポイ捨ての背景、ごみの削減に向けた事例を調査・整理。

	収集	処分	計
可燃ごみ	5億7,321万円	16億10万円	21億7,331万円
不燃ごみ	1億8,062万円	4億5,775万円	6億3,837万円
資源物	2億8,352万円	2億4,828万円	5億3,180万円
合計	10億3,735万円	23億613万円	33億4,348万円

令和3年度山口市のゴミ処理費用

引用：山口市(2023)「山口市一般廃棄物処理基本計画《中間見直し》」  
<https://www.city.yamaguchi.lg.jp/uploaded/attachment/82859.pdf> (参照日 2026/1/28)

### 3.取り組みの流れ | フィールドワーク

#### 実際に見たリアルなごみの姿

まちのポイ捨てごみを調査するフィールドワークの実施と  
産業廃棄物処理場の見学にて、ごみの状況を把握。

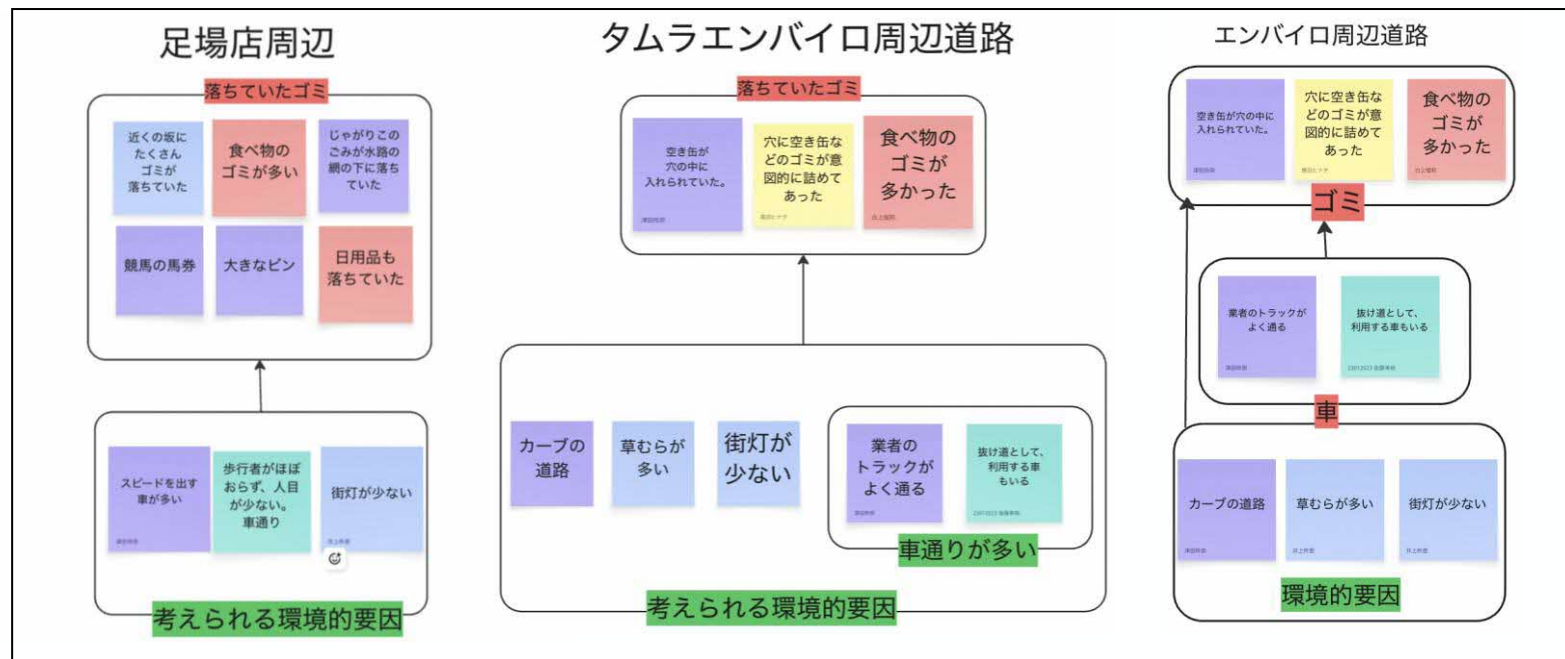


フィールドワークの実施と廃棄物処理場の見学の様子

### 3.取り組みの流れ | フィールドワークでの気づき

#### フィールドワークの気づきの整理

フィールドワークで得た気づきをMiro上で共有し、ごみの場所や状況、周辺環境との関係などを整理した。

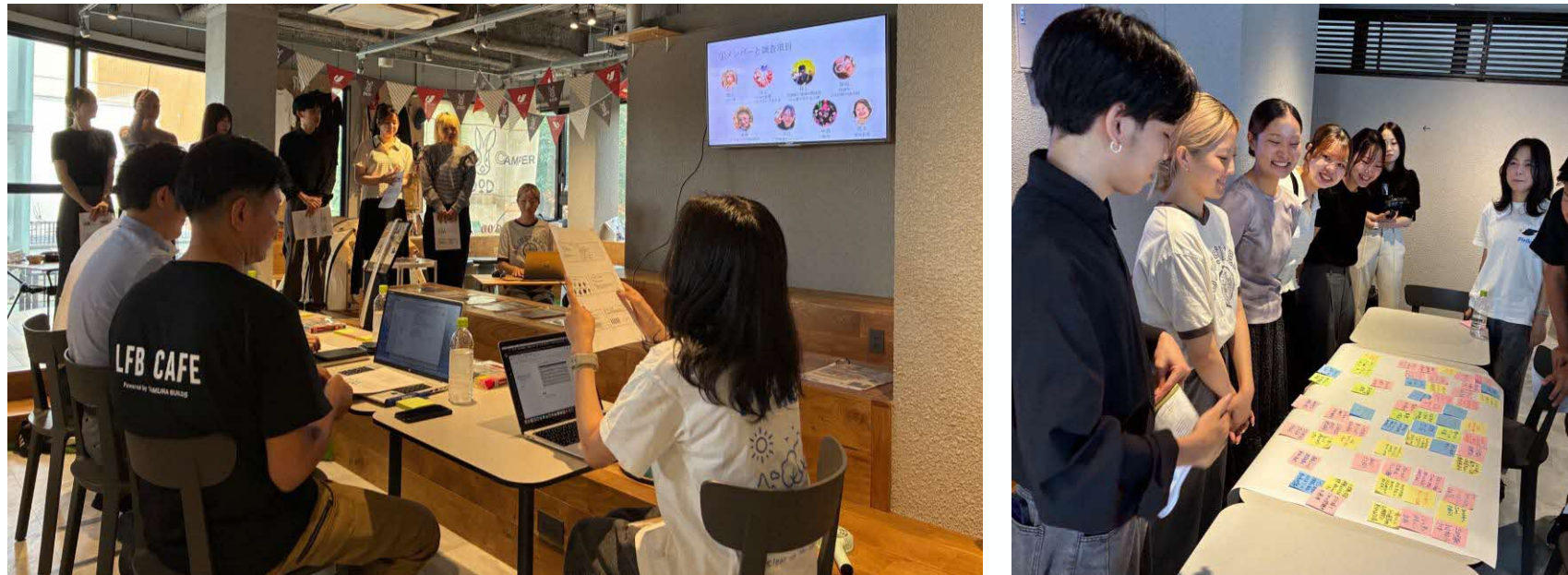


Miro上で共有・整理した様子

### 3.取り組みの流れ | アイディエーションワークショップ

#### 気づきをアイデアへ

デスクトップリサーチ・フィールドワークを通して得た情報や気づきを共有。ごみ削減へ向けての取り組み案を検討。

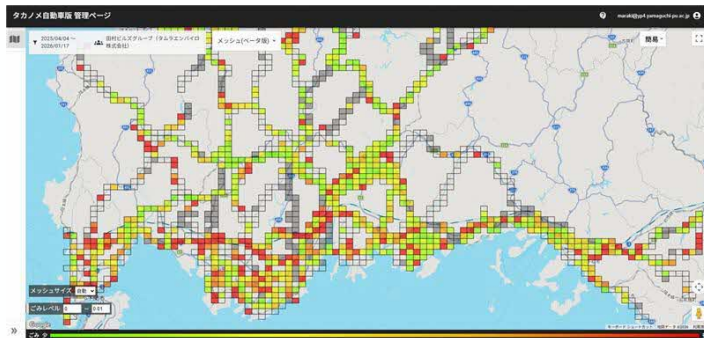


リサーチ結果共有とワークショップの様子

### 3.取り組みの流れ | 取り組みを通しての気づき

#### 環境とポイ捨てごみの関係性

- ・ 人目につきにくい場所でポイ捨てごみが多い。
  - 車通りや草むらが多い、街灯が少ないことが要因の可能性。
- ・ データでは取得されていない場所にもごみがある。
  - 草むらや物陰など、AIが認識しづらい環境にあった。



タカノメ管理画面

**データだけでは把握できないごみも存在し、  
現地での確認の重要性に気づいた。**

## 4.解決方法

---

調査結果をもとにした啓発活動の企画・実施

### **プラスチック減らすっちゃ！キックオフイベント in 山口**

プラスチックごみ問題について学べる市民参加型のイベントブースを出展。(山口県環境生活部廃棄物・リサイクル対策課主催)

### **GO！ME！展**

これまでの活動を通して得た気づきや課題を整理し、市民への啓発を目的とした企画展を開催。

## 4.解決方法 | プラごみ減らすっちゃ！キックオフイベントin山口

### 体験を通して学ぶプラスチックごみ問題

**プラスチックはかりチャレンジ**  
プラスチックを100gピッタリ計る  
チャレンジ。

**プラフィールカード&クイズ**  
プラスチックごみに関する簡単な  
紹介とクイズ。

### 認定カード発行所

はかりチャレンジとクイズの参加  
でランク付けし認定カードを発行。



イベントの様子

## 4.解決方法 | GO!ME!展

### 様々な視点から見るごみ

- ごみデータを可視化した「**データで見るゴミ**」
- 街で撮影したゴミにつぶやきをつけて展示した「**ゴミのつぶやき展**」
- 2次元コードを用いて参加する「**自分にできるアクション宣言**」
- 廃材や不要になった素材を使用した「**アート作品**」



GO!ME!展の様子



GO!ME!展  
準備中の様子

## 4.解決方法 | GO！ME！展

### データから見えるごみの現状

#### 「データで見るゴミ」

- これまで調査してきたごみに  
関する内容を紹介。
- タカノメのデータを時間軸で  
表示し、ごみの量の違いを  
可視化した。



データで見るゴミの様子

## 4.解決方法 | GO！ME！展

捨てられたものの気持ちを考えてみる

### 「ゴミのつぶやき展」

- まちで見つけたごみを撮影し、その「声」を添えて紹介。
- 来場者が「ごみのつぶやき」を書き込めるスペースを用意。



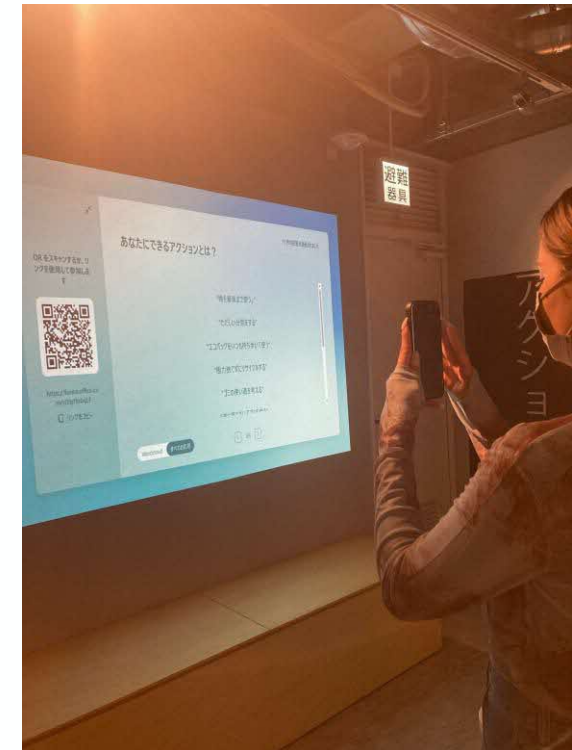
ごみのつぶやき展の様子

## 4.解決方法 | GO！ME！展

これからの一步を考える

### 「自分にできるアクション宣言」

- ごみに対して、「自分にできること」を言葉にする。
- 「知る」だけで終わらせず、明日からの行動に変えていく場所。



自分にできる  
アクション宣言の様子

## 4.解決方法 | GO!ME!展

### 不要な素材から生まれる表現

#### 「アート作品」

- ・ 廃材や不要になった素材を使い、小物雑貨を中心とした作品を展示。
- ・ 捨てられるはずだったものに新しい価値を見出す。



実際に展示したアート作品

## 5.成果・考察

### 今までの取り組みから得られた効果

- ごみ問題を日常生活と結びつけた身近な課題として再認識する場を生み出した。
- メディア掲載により、取り組み内容と問題意識を広く共有する機会となった。

(取材元：山口新聞、読売新聞山口総局、宇部日報、山口朝日放送、NHK山口放送局)



Yahoo!ニュース,宇部日報,「ポイ捨て問題に関する取り組み記事」(2025/01/27)より  
<https://news.yahoo.co.jp/articles/7241a8a989e8b25cd14a9ccb6e19c142e84d1e3/images/000>(参照日2026/1/28)

- データ可視化を通じて、ごみ問題を主観的なイメージではなく、客観的事実として理解するための新しい視点を提示した。

## 6.今後の展望

---

### 参加体験を持続的な行動へ

限られた期間での実践であったため、参加者の偏りや、展示体験による意識の変化が今後どのように続いていくかを見ていきたい。

**GO!**

ゴミを知って、日常を豊かに。

**ME!**

私から。

**展**

2026  
1.9 fri ▶ 2.9 mon  
12:00-18:00  
オープニングイベント 1.9 fri 15:00-

**LFB CAFE 地下1階**  
〒753-0087 山口県山口市米屋町 1-10 LFB TOWER

データで見るゴミ / ゴミのつぶやき展 /  
自分にできるアクション宣言 / アート作品展示

お問合せ 山口県立大学 国際文化学部 文化創造学科 maraki@yp4.yamaguchi-pu.ac.jp 担当：真木

タムラエンバイロ株式会社 山口県立大学

タムラエンバイロ株式会社と山口県立大学は PBL の一環で企画運営しています。  
\*PBLとは Project-Based Learning の略称で、地域の企業・団体・自治体等と学生が連携して、企業課題や地域課題とその解決方法を可成る課題解決型学習のことです。

ご清聴ありがとうございました